



機能性



火事に強い？木造（2×4工法）の家

木材は鉄やアルミなどの金属と比較すると熱の伝導率が小さく、内部に空気を多く含んでいるため、断熱性に優れ、熱にさらされても内部にその熱を伝えにくいという特徴があります。

また、燃焼が始まっても空気が十分にある表面では燃焼が進みますが、内部では酸欠状態になっているため、不完全燃焼で内部に炭化層が作られます。この炭化層は熱の伝導率がさらに低く、熱を伝えにくくするほか、燃焼に必要な酸素を遮断する役割を果たします。こうして、時間と共に炭化層は厚くなり、内部の温度上昇がさえぎられ、内部の健全な木部が建物を支えることができるのです。ですから、金属のようにいきなり強度が低下して建物が崩壊するということはありません。ですから、木造の建物なら火の具合を見ながら、中の人を消防隊が救出するといったことも可能なのです。

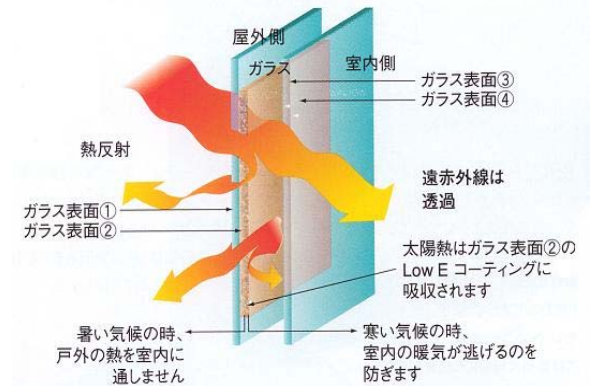
輸入住宅の場合は木の構造材は石膏ボード（石膏ボード）で覆われています。石膏の中には水分が含まれていて、熱を加えるとこの水分が熱分解を起こし、温度の上昇を妨げます。ホームメイドが使用している厚さ12.5mmの石膏ボードは、不燃材料として認定されています。



手づくり輸入住宅の **HOMEMADE**

ホームメイドの窓について

最も熱が逃げやすいといわれる窓。ホームメイドの資材の輸入先カナダは、寒い地方が多いので高性能の窓が開発されています。優れた断熱性能によって注目されているペアガラス。通常2枚のガラスの間に乾燥空気を封入しますがホームメイドはアルゴンガスを封入して、さらに性能を向上させています。また、Low-E コーティング（特殊金属の薄い皮膜）のガラスを使うと、紫外線も大幅にカットする為、カーテンやカーペットの色褪せを防止します。夏の強い日差しを遮り、冬は室内の暖かい空気が外に逃げるのを防ぐので、冷暖房コストの節約に最適です。



サッシの断面は複数の空気層に分かれているので、さらに断熱性能が高まります

また、日本のアルミサッシは、熱伝導がよい（＝熱が伝わりやすい）ので結露しますし、断熱効果が低いとも言われています。ホームメイドは木製枠やサッシの内部にいくつもの仕切りを入れた構造のPVC枠のサッシを使用しているので、空気層がより高い断熱性を発揮してくれます。



屋根とおそろいのグリーンの窓がおしゃれなH邸

〒470-0135 日進市岩崎台 4-905

TEL: 0561-75-4087 FAX: 0561-75-4088

URL: <http://www.homemade-co.com>

E-mail: home.made@carrot.ocn.ne.jp